



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1

Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会

印刷：小野印刷

■ 第 107 号 ■

2016年度株式会社ファルマ 入社式および新入職員歓迎会



先輩の須藤雪絵薬剤師(左端)からお祝いのケーキの贈呈(右から村上昌薬剤師、小山内佳乃薬剤師、三上奈美さん)

4月2日(土)ホテルニューキャッスルにて、2016年度入社式および歓迎会が開催されました。
今年の新入職員は薬剤師国家試験に見事合格した村上昌さん(ファルマ浪岡薬局)と小山内佳乃さん(弘前調剤センター)、非常勤職員から事務正職員に登用された弘前調剤センター薬事課の三上奈美さんの3名です。
まず、石川社長から歓迎

の挨拶の後、3人へ辞令が交付されました。続いて3人の新入職員から目標や決意を込めた挨拶がありました。昨年入職された薬剤師の須藤雪絵さんからは3人への温かなメッセージがあり、会場は一気に和やかな雰囲気になりました。その後各職場から工夫を凝らした職場紹介や力強い御挨拶の演奏など、始終歓迎ムードの中行われました。



4月1日の午後の新入職員オリエンテーションで崎野取締役総務部長から講義をもらう3人



4月1日午前各薬局へのご挨拶の時には、一ツ谷薬局から恒例の合格おめでとうのくす玉が!!



石川社長から3人へ歓迎の挨拶

新薬剤師 紹介

【村上 昌薬剤師】

Q1 出身地や出身大学なども含め、簡単に自己紹介をお願いします
青森県出身、日本薬科大学卒業です。
ウケをねらうと、全く面白くないとよく言われます。どうかよろしくお願いします。

Q2 趣味や特技はありますか？
趣味はゲーム、球技です。特技と呼べるものはまだありません。これから作っていきたいです。

Q3 ファルマに入社した動機は？
学生時代、母親がこういう奨学金を貸してくれる場所があると聞きつけたのが、きっかけとなり入社しました。

Q4 薬剤師という職業を選んだのはなぜですか？
昔、両親に薬剤師が向いているんじゃないかと言われたのがきっかけで興味を持ち、この道に進むことを決めました。

Q5 どんな薬剤師像を目指しますか？
人に必要とされる薬剤師を目指したいです。

【小山内 佳乃薬剤師】
Q1 出身地や出身大学なども含め、簡単に自己紹介をお願いします
出身地は弘前市、出身大学は青森大学です。
体を動かすことが好きで、小学校から高校までバスケットボールをやっていました。

Q2 趣味や特技はありますか？
料理やお菓子を作るのが好きです。

Q3 ファルマに入社した動機は？
実務実習をさせていただいた時に、在宅医療に興味を持ちました。在宅医療に力を入れて取り組んでいるということや多くの処方箋に触れることができることから、薬剤師として多くのことを勉強できると思い、入社を希望しました。

Q4 薬剤師という職業を選んだのはなぜですか？
祖母が色々な薬を飲んでいてのを見て、薬に興味を持ち、薬学部へ入学し、薬剤師について勉強していくうちに、自分もこんな仕事をしたかったからです。

Q5 どんな薬剤師像を目指しますか？
患者様のことを考え、それに合った行動ができるような、患者様に信頼してもらえる薬剤師を目指したいです。

第42回 全日本民医連定期総会 in福岡

弘前調剤センター 薬局長 相馬 渉

3月10日(木)～12日(土)に福岡で開催された全日本民医連第42回定期総会にファルマの代議員として、青森県連17名とともに参加しました。

全国から603名の代議員が集まりました。10日の全体会で、岸本啓介事務局長は運動方針案について報告しました。平和といのちを守る運動を総がかりで取り組んでいくこと、「国のあり方、平和、人権、いのち、憲法をめぐる緊迫した情勢だ」と切り出し、9月に安倍政権が強行採決した戦争法が3月29日に施行されようとしていると指摘しました。

一方、「戦争法を廃止する歴史的な局面が開かれた」として、2月の5野党



定期総会に参加した相馬薬局長

党首合意を紹介しました。「戦争法を廃止し、立憲主義を取り戻す」「戦争法廃止を求める2000万人統一署名の民医連の目標300万筆を4月25日まで達成しよう」と呼びかけ、運動を広げようと訴えました。

安倍政権について「いのち、憲法、綱領」の物差しでみるのが大事だと前置きし、安倍政権がすすめる社会保障解体は「戦争する国づくり」と一体だとして、「地域で人権を守り抜く連帯を広げること、無差別・平等の地域包括ケアの実現に向けた課題、それを担う人づくりなど、討論で深めてほしい」と呼びかけました。

東日本大震災と福島第

一原発事故以降の民医連の支援、原発事故被害に触れ、被災者に寄り添う活動、原発ゼロを求める運動を提起しました。

また、今後2年間について「医師養成の課題で飛躍を」と強調しました。「運動は総がかり、事業は積極的な連携で、職員育成は民医連らしい運動と事業から、この3点で展望を作り出そう」と提起しました。

この提起をうけ、10日全体会の28本、11日の分散会(13会場)で延べ916本の発言がありました。

全国各地から2年間の実践や地域の実態、問題意識などが紹介され、42期の民医連の運動方針を深める議論が行われました。

今総会で、戦争法の廃止、立憲主義の回復、平和憲法を守り抜くこと、権利としての社会保障を守り、地域医療・介護を守り抜くこと、無差別・平等、人権を守る医療と介護の実践、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを共同組織のなかまともに旺盛に進めていくことを確認しました。

また、医師をはじめとした民医連運動の担い手の養成をさらに強めていくことも確認しました。今回の定期総会に参加し、改めて民医連のすごさを実感しました。

全国各地での民医連綱領実践の積み重ねで総会方針ができていくことがよくわかりました。分散会で各地の取り組みの報告をうけ、大変勉強になりました。それぞれの地域で民医連活動を実践することで、困難を抱えている人々を救っていくことができます。

民医連はこれからもっともっと大きな運動をしていかななくてはいけないと強く思いました。

ジュエネリック医薬品講演会

弘前調剤センター 薬剤師 盛 友莉恵



3月12日(土)に青森県民福祉プラザで行われました、堀美智子先生による講演会に参加しました。

テーマは「健康サポート薬局×ジュエネリック医薬品からサプリメントまで」でした。

五所川原方面や八戸方面など県内さまざまな地域よ

り参加する方がいました。300名ほど収容可能な会場でしたが、満員のため立ち見をする方がちらほらいました。

4月から始まる健康サポート薬局制度について、薬局薬剤師はこれからのどのように・どうあるべきかについて講演していただきました。

ジュエネリック医薬品・機能性食品等興味深いテーマから、薬局薬剤師の将来像についての解説がありました。

今後はただ処方箋を待っている薬局は淘汰される時代となります。その中で、私たちはファルマの薬局を選択してきてくださる患者様のために何ができるかを試行錯誤し、実践する必要があります。

堀先生の経営される薬局では、代謝酵素の分析を薬局で行い、患者個人に合った薬物選択を行うといったサポートを行うそうです。

新しい情報を発掘でき、大変刺激的な講演でした。

3・20戦争法廃止！ 弘前集会

弘前調剤センター 薬事課 鈴木 菜夏

3月20日(土)駅前りんご広場で行われた「3・20戦争法廃止！弘前集会」に参加しました。小雨がぱらつく中、60名の参加者が集まりました。

当日は安藤はるみ県議や大竹進医師、民主党の山内崇氏らが挨拶をしました。

今までそれぞれの政策に力を入れてきましたが、これからは党派をこえて、野党力を合わせて安倍政権へ



風が強い中、参加したみなさん

立ち向かっていくという力強い言葉を聞くことができました。

戦争法の強行採決から半年が過ぎ、ついに3月29日に戦争法が施行されました。

二度と戦争をしないと誓ったこの国の未来と、殺し、殺させない国づくりを目指して、声を上げ続けなければならぬと改めて感じました。

3・26

NO NUKES DAY in 代々木に参加して

弘前調剤センター 薬事課 中西 将太



パソコン等を入れ替え中

3月19日(土) カシオ調剤システムの入れ替えがありました。当日の様子をほんの少しだけご紹介します。旧システムの、全てのパソコン、プリンター、ケーブルを撤去し掃除。新システムの設置。ケーブル配線。最後に通信テストを行いました。

最後の通信テストは重要です。調剤録や領収書、薬袋、一包化等、正常に動かなければ患者様にご迷惑がかかってしまいます。三か月、何度もテストを繰り返してきて、最終確認となります。当日は多くの職員が立ち会いました。これまでの入れ替えでは、少数で行っていましたが、今回は各薬局の職員も立ち会いました。今後、自分の職場での入れ替え時には、この経験が貴重なものになると思います。入れ替えから何日か経ちますが、大きなトラブルもなく順調に稼働しています。



最後の通信テスト中

カシオ調剤システム入れ替え

本部 課長補佐 鈴木 健仁

3月26日(土)、東京都代々木公園で開催された3・26 NONUKES DAYに浪岡薬局(当時)の薬剤師の小田桐主任と共に参加しました。脱原発、反核燃を訴えるため、会場には3万5千人もの方が集まりました。ゲストには小説家の澤地久枝さんらも参加され、大変大きなイベントとなりました。

印象に残ったのは、「今、この会場に足を運んでくれている方々は興味をもっていただいているからいいが、本当はこの会場にいない人たちにこそ私たちの声を届けたい。」ということでした。まさにその通りで、このようなイベントに興味がない人々にこそ、原発に頼ることのない未来について強く訴えていかなければならないと感じました。また、デモ行進についても、参加者が多かったこともあり、多くの方々にアピールすることが出来たのではないかと思います。



二人で目立ってきました!!! かわいいニワトリの親子の小田桐主任(左)と中西さん

このような機会を通じて、さらに学んでいくと共に、自分の言葉で伝えていかなければならないと強く思いました。

「スマホ時代を生き抜く子どもたち」に参加して

弘前調剤センター 薬事課 佐々木 良太

3月10日(木)、津軽保健生協本部二階ホールにて生存権裁判を支援する会主催の講師一戸義規氏による「スマホ時代を生き抜く子どもたち」の講演がありました。

今回の講演では、子どもも貧困という表現が多く出てきました。貧困というと経済的な意味で使われるケースが多いですが、今回の講演では経済的な貧困だけではなく、人間関係での貧困が現代の子どもの多くにみられるということがテーマでした。その原因としてスマホの普及です。便利なのは良いですが、多くの子どもたちが

本人だけを責めるのではなく、教



講師の一戸義規氏

育する側の大人にも責任があるということでした。全体を見るだけでは気づかないことも多いと思います。今回参加して、子どもたち一人ひとりに目を向けていき、小さなサインを見落とさないようになりたいと思います。

【人事異動】

4月1日付で薬局長の異動がありました。
相馬 渉 弘前調剤センター 薬局長(藤代薬局 薬局長)
木村 匡宏 藤代薬局 薬局長(黒石薬局 薬局長)
大川 誠也 黒石薬局 薬局長(弘前調剤センター 薬局長) ※カッコ内は異動前
よろしくお願ひします。



弘前調剤センター 薬局長 相馬 渉



藤代薬局 薬局長 木村 匡宏



黒石薬局 薬局長 大川 誠也

わたしのお気に入り

～喫茶～

黒石薬局 薬局長 大川 誠也

私のお気に入りはズバリ“喫茶店”です！カフェに行く人は多いと思います。好きなのは喫茶店です！最近スター・オックス、ドトール、エクセルシオールなど幅を利かせていますが、嫌いじゃないんですよ、そんなカフェも。でも落ち着かないんです。本をゆっくり読める雰囲気じゃないですし、注文で緊張します…喫茶店に憑りつかれたのは大学時代に、あまりに喫茶店が好きすぎて、同じ時期に2店舗の喫茶店でウェイトーをしてみました。10時から5時まで、6時から10時までで今考えると異常です！そのお店の一つはコーヒーをサイフォンで淹れていました。

おかげでサイフォンの使い方も覚えましたが使う機会がありません…そんな私のお気に入りのお店は青森市に1か所、弘前に2か所あります。プライベートで大事にしているお店なので私に連れていかれた人はラッキーです♪残念ながらお店の名前は教えません。

弘前の喫茶店はテラス席でのランチが極上の時間です♪



お気に入りの喫茶店で

戦争法強行採決から半年の3月19日(土)、日比谷野外音楽堂にて開催された「戦争法廃止・安倍政権の暴走許さない3・19総がかり日比谷大集会」に参加しました。

3・19 総がかり行動 in 日比谷

本部 樋口 友里



参加者の高松常務(左)と樋口さん

にコールしました。この日は会場外でも集会やデモが行われており、その音がこの会場まで響いていました。プレ企画や集会では各界代表発言では、安倍政権の政策に対する危険性、参院選に向けた意思表示が力

強く述べられました。特に印象に残ったのは「戦争法が採決されたこと」によって、紛争地で医療支援を行っている日本人たちを見る目が変わってしまった。日本の平和ブランドが崩れれば、医療スタッフの



多くの方が反対の声を上げています

安全が確保できなくなり、紛争地の3万人もの人々から医療を奪うことになる。」という発言でした。私たちはなんとしてもこの戦争法を廃止するべく、参院選で安倍内閣退陣を実現させ日本の平和ブランドを守らなくてはならないのだと、改めて感じた集会でした。

写真紹介

調剤報酬改定学習会

3月9日(水)本社会議室にて2016年度調剤報酬改定学習会が開催されました。講師は弘前調剤センター薬事課葛西祐一主任で、多くの職員が参加しました。



講師の葛西主任

県連薬学生実習

3月23日(水)〜25日(金)、ファルマ一ツ谷薬局で県



津川薬局長から説明を受ける工藤さん(左)

連薬学生実習が行われました。今回は3日間と短い期間でしたが、東北医科薬科大学の工藤矩子さんが実習しました。

県連高校生 1日薬剤師体験会

3月24日(木)ファルマ一ツ谷薬局にて「高校生1日薬剤師体験会」が開催され、7名が参加しました。この日は津川薬局長と佐藤主任(当時)に教わりながら調剤体験しました。



体験会に参加してくれた高校生らと記念撮影

介護センター虹へ 出張出前講座

介護センター虹から出張出前講座の要請があり3月27日(日)弘前調剤センター薬剤師の高橋和希主任補佐(当時)と菊池紀子さんが講師を務めました。高橋主任補佐は「認知症

とお薬について」、菊池薬剤師は「薬剤師による居宅療養管理指導について」のテーマでした。



講師をした高橋主任補佐(中央奥)と菊池薬剤師(左)

青森大学企業説明会

4月6日(水)青森大学企業説明会が青森市ホテル青森にて開催され、高松常務取締役と弘前調剤センター須藤雪絵薬剤師が参加しました。当日は昨年度実習に来た方やこれから実習に来る方など7名の学生がファルマのブースを訪れました。



須藤薬剤師(左)と話をしている学生2名